

平成 25 年度市民公開講座

「放射線・放射能を正しく理解するための市民公開講座」開催報告

担当理事 丹治 一

市民に医学的・学術的観点から放射線と放射能について正しくご理解してもらうことを目的とした表記の講座を、2011 年 7 月と 2012 年 5 月の開催に引き続き、本年も下記の要領で開催いたしました。

今回は震災後の時間の経過とともに被害の状況や人々の関心事などに様々な格差が広がっていることに鑑みて、今でも関心の高い“小児への影響”“農作物への影響”“食に対する不安”を具体的テーマとして取り上げました。なお、この市民公開講座は学会本部の後押しのもと、東北部会および放射線防護分科会、放射線計測分科会が協同して催したものです。

日 時 : 平成 25 年 5 月 18 日(土) 13:30～17:00

場 所 : コラッセふくしま 4 階多目的ホール(福島市) 参加費:無料

参加者数 : 103 名(学会員参加も含む) スタッフ:29 名

主 催 : 公益社団法人 日本放射線技術学会 (東北部会・放射線防護分科会・計測分科会)

後 援 : 福島県・福島市・伊達市・社団法人 福島県医師会

公益社団法人 福島県診療放射線技師会

1:講演 座長: 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター 広藤 喜章 先生
群馬県立県民健康科学大学院 根岸 徹 先生

①「食べ物のなかの放射性セシウム : 今、そして、これから」

放射線医学総合研究所放射線防護研究センター廃棄物技術開発研究チーム 田上 恵子 先生

②「よりよい食のために」内部被ばくの現状を実測から考えてみる

福島県立医科大学放射線健康管理学講座 宮崎 真 先生

③ ～みんなで考えよう～ 子どもへの放射線影響

放射線医学総合研究所放射線防護研究センター発達期被ばく影響研究プログラム 島田 義也 先生

2:質疑応答 ～いただいたご質問にお答えします～

広藤 喜章・根岸 徹・田上 恵子・宮崎 真・島田 義也 各先生

3:会場フロアに「放射線に関する質問・相談コーナー」と「放射線測定機器展示コーナー」を設置し、放射線防護分科会委員、計測分科会委員らが市民対応にあたりました。

開催にご協力いただきました、講師の皆様、専門分科会の皆様、そして、広報・準備にあたった現地スタッフの皆様、福島県診療放射線技師会放射線管理部会員の皆様に感謝申し上げます。